

シンポジウム

HALL A: 室町三井ホール

ワークショップ

HALL B: 室町三井カンファレンス

9月6日(火)

9月7日(水)

9月8日(木)

9月6日(火)

9月7日(水)

9月8日(木)

シンポジウム (HALL A: 室町三井ホール)

9月6日(火)

9:00-9:05

主催者挨拶

牧江 邦幸 日本経済新聞社 執行役員 メディアビジネス担当

9:10-9:20

基調講演

浅沼 尚 デジタル庁 デジタル監

9:30-9:50

[単独講演] MS & ADグループによる共創DX

一本木 真史 MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス 執行役員 グループ CDO

概要：三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保を中核とするMS & ADグループは、今年度からスタートした4年間の中期経営計画において、「リスクソリューションのプラットフォームとして、気候変動をはじめ、様々な社会課題の解決に貢献し、社会と共に成長していく」ことを目標としています。今回の講演では、様々な業種の方々と共に新しいソリューションやビジネスを創造する「共創DX」についてご説明します。

10:00-10:50

[パネル] DX 先進企業の試行錯誤から学ぶトランスフォーメーションの要諦

小寺 剛 ソニーグループ 常務 CDO デジタルトランスフォーメーション戦略、情報システム、情報セキュリティ担当

生田目 雅史 東京海上ホールディングス 常務執行役員 兼 グループ CDO

関 知道 東京電力ホールディングス 常務執行役員・CIO/CISO

則武 譲二 ベイカレント・コンサルティング 常務執行役員 CDO

モデレーター：

八木 典裕 ベイカレント・コンサルティング チーフエバンジェリスト

概要：多くの企業はDXを進めるにあたって、他企業の成功事例を参考にしがちだが、先進企業の試行錯誤の中にこそ参考になることが多い。DX 先進企業の試行錯誤をひもとき、徹底的に模倣するところと避けて通るところを見極め、日本全体のDX推進、経済発展に役立てる。

11:00-11:50

[パネル] データが導く金融の未来

ジェフ・ラドウキ アクセラレント Co-Founder and CEO

ジョエル・リージョナー ベースライン Founder and CEO

モデレーター：

ジョン・ソバーク MS&AD ベンチャーズ Managing Partner

概要：組込型金融の台頭や、決済・銀行・クレジットカード・保険等の金融サービスの融合によって、顧客ニーズを満たすより良い商品・サービスが提供されるようになるにつれ、金融の世界は急速に変化しています。このパネルディスカッションでは、金融の未来を実現すべく、画期的な方法でデータを活用している Accelerant と Paceline の CEO に迫ります。

13:15-13:35

[単独講演] **ハイブリッド時代の DX サイバーセキュリティ戦略**

田井 祥雅 フォーティネットジャパン 社長執行役員

概要：働き方、クラウド、OT、メタバース。デジタル環境の変化の波は、さらに大きく速く、多方向に絡み合っています。予測困難な変化をすばやく捕捉、ビジネス変革をもたらすには、複雑な環境の中でも安心してその変革に集中できる、積極的なサイバーセキュリティ戦略への転換が必須です。ここでは、サイバーセキュリティのグローバルリーダーであるフォーティネットが長年蓄積した経験と技術、最新の研究成果に基づき、これからの DX に不可欠なサイバーセキュリティ戦略の要件を探っていきます。

13:45-14:00

[単独講演] **SMBC グループが取り組む農業・エネルギー・カーボンニュートラル**

金子 忠裕 三井住友フィナンシャルグループ 理事 サステナビリティ本部 副本部長

概要：SMBC グループは、2020 年 4 月に経営理念に「社会課題の解決を通じ、持続可能な社会の実現に貢献する」を追加しています。今回の講演では、持続可能な社会の実現に向けた SMBC グループの取り組みのうち、農業・エネルギー・カーボンニュートラルをテーマにご紹介します。

14:10-15:00

[パネル] **STO の進化と展望 ～丸井 G の「応援投資」に見る資金調達とマーケティングの融合～**

加藤 浩嗣 丸井グループ 取締役 常務執行役員 CFO

村上 朋久 野村證券 執行役員/インベストメント・バンキング・プロダクト担当

小林 英至 Securitize Japan カントリーヘッドジャパン

モデレーター：

松澤 翔太 イノベーションコネクト 代表取締役社長

概要：近年、ブロックチェーンを活用するセキュリティ・トークン・オフリング (STO) は全世界で急速に拡大しています。今回はそのメリットの一つである「資金調達とマーケティングの融合」に焦点を当て、本邦初案件として 6 月に発行された丸井グループによる自己募型デジタル債の取り組みを見ながら、その内容、意義、展望を考えていきたいと思えます。

15:10-15:25

[単独講演] **なぜ、脱炭素社会に向けて「DX・データ活用」が必要か**

葉山 誠 セゾン情報システムズ 代表取締役社長

概要：「脱炭素社会」の実現が求められている中、デジタルトランスフォーメーション (DX) やデータ活用がどのように貢献できるのかお伝えします。

15:35-16:10

デモステージ

AnchorZ：世界の常識を変える日本発のテクノロジー「DZ Security」

徳山 真旭 AnchorZ 代表取締役 CEO

トレードワルツ：貿易の未来をつくる、貿易 DX プラットフォーム「TradeWaltz」ご紹介

小島 裕久 トレードワルツ 代表取締役社長 兼 CEO

G.U.テクノロジーズ：日本発のビジネス向けブロックチェーン基盤「Japan Open Chain」のご紹介

稲葉 大明 G.U.Technologies 代表取締役 CEO

16:20-17:10

[パネル] **AI が発明を考える時代～特許 DX が日本を元気にする**

白坂 一 AI Samurai 代表取締役

山田 敦 日本アイ・ビー・エム IBM コンサルティング事業本部 執行役員 兼 技術理事 AI センター長

荒井 康昭 太陽インキ製造技術開発部 基盤技術開発課シニアエキスパート 弁理士 (特定侵害訴訟代理)

濱野 敏彦 西村あさひ法律事務所 弁理士・弁護士

モデレーター：

渋谷 高弘 日本経済新聞社 編集 総合解説センター 編集委員

概要： この3月、経済産業省は、弁理士の独占業務である特許書類の作成に人工知能（AI）を用いることを「適法」と判断した。スタートアップ企業によるグレーゾーン解消制度の照会に答えたもので、AIが発明を考える時代が幕を開け、日本企業の知財戦略が大きく羽ばたく可能性も出てきた。

17:20-18:20

[パネル] **多様化するデジタル通貨と金融の未来 ～ステーブルコインの新法制などから見る
地方創生、成長、新ビジネス**

三輪 純平 リクルート プロダクト統括本部 シニアエキスパート

稲葉 大明 G.U.Technologies 代表取締役 CEO

近藤 秀和 G.U.Technologies 代表取締役 CTO

楠 正憲 デジタル庁統括官 デジタル社会共通機能グループ グループ長

モデレーター：

関口 慶太 日本経済新聞社 編集 金融・市場ユニット フィンテックエディター

概要： ステーブルコインに比較的寛容と思われていた米国でも規制強化の動きがある。日本では6月に世界に先駆けてステーブルコインを規制する改正資金決済法が成立したが、イノベーションフレンドリーなデジタル通貨の発行・流通を後押しするものなのか。地方創生、金融の未来などの観点で、今後の展望と可能性を議論する。

シンポジウム

HALL A: 室町三井ホール

ワークショップ

HALL B: 室町三井カンファレンス

9月6日(火)

9月7日(水)

9月8日(木)

9月6日(火)

9月7日(水)

9月8日(木)

シンポジウム (HALL A: 室町三井ホール)

9月7日(水)

9:00-9:20

[単独講演] 日本企業における DX 推進の勘所

鳥井 卓

日本アイ・ビー・エム IBM コンサルティング事業本部 エクスペリエンス・デザイン&DX 推進事業 パートナー/理事

概要：総務省の調査によると、DXに取り組む企業は42%を超えています。一方で、大多数の企業におけるDXの取り組みは業務改善の延長に留まっており、本質的な「デジタル時代の競争優位性」が確保できていないのが現状です。DX推進には、シニアマネジメントの関与に加えて、新たなルール・プロセス・組織スキルの獲得が必要になります。本セッションでは、日本企業のDX推進の失敗と成功を経験してきた最前線のコンサルタントとして、日本企業でDXを推進する際の勘所について紹介します。

9:30-10:20

[パネル] 新たな価値を創出するデジタル社会を目指して

谷崎 勝教

三井住友フィナンシャルグループ 執行役専務 グループCDIO

穴戸 常寿

東京大学大学院法学政治学研究科教授

綱川 明美

ピースポーク 代表取締役

須賀 千鶴

経済産業省 商務情報政策局 情報経済課長 兼 デジタル庁 参事官 (デジタル臨調担当)

モデレーター:

小川 恵子

EYストラテジー・アンド・コンサルティング バンキング アンド キャピタル(銀行・証券) マーケットリーダー レグテックリーダー、パートナー (公認会計士)

概要：単なるデジタル化ではなく社会や経済の変革につなげるのがDXの本質。その中で重要なのは、変革が新たな価値を生み、持続的な成長を実現できるかどうか。データ流通、スタートアップイノベーション、働き方改革、金融民主化などをテーマに、日本のあるべき姿を議論する。

10:30-11:20

[パネル] 世界を変える、スタートアップの破壊的ビジネスモデル

アーロン・タン

カーロ Co-Founder and CEO

サグウェ・カトゥリ

マルチプライヤー Co-Founder and CEO

デニス・ゴー

ライトベンチャーズ Co-Founder and CEO

モデレーター:

ティファニー・ワン

MS&AD ベンチャーズ Partner

概要：新たなビジネスモデルを世界に送り出す、MS&AD Ventures の投資先企業 3 社に聞く！世界中どこでも人材雇用・管理ができるグローバルな従業員管理プラットフォームを運営する Multiplier、高度な業務を担うフリーランスへ融資と福利厚生を提供する Lyte、東南アジア最大のオンライン自動車ディーラーである Carro。これらのスタートアップと協力して、皆さんの組織や日本を変革する方法を学びます。

11:30-11:50

[単独講演] アフラックが描くデジタル社会のカタチ ～保険の枠を超えたエコシステムの構築～

二見 通

アフラック生命保険 取締役専務執行役員 兼 CTO(チーフ・トランスフォーメーション・オフィサー)CDIO(チーフ・デジタル&インフォメーション・オフィサー)

13:00-13:20

[単独講演] すべての企業が目指すべき感動 CX

則武 譲二

バイカレント・コンサルティング 常務執行役員 CDO

概要： 今やすべての企業にとって、DXを目指す取り組みは必須といえます。しかし、まだ主だった成果に結びつけられていない企業がほとんどではないでしょうか。

そろそろ日本企業は、DXで際立つ成果をあげるときです。

顧客を驚かせ、感動を与え続けるほどのCXを、デジタルを駆使して実現する。日本企業のポテンシャルを持ってすれば、世界に類を見ないほどのDXの成果をつかみとれるはずなのです。

13:30-14:20

[パネル] **フードテック最前線 「細胞農業」ビジネスの展望と可能性**

羽生 雄毅 インテグリカルチャー代表取締役 CEO

吉富愛望 アビガイル 細胞農業研究会 事務局広報委員長 欧州系投資銀行 アナリスト

中山 展宏 衆議院議員 細胞農業によるサステナブル社会推進議員連盟 事務局長

モデレーター：
辻本 直規 西村あさひ法律事務所 弁護士

概要： 人口増加、地球温暖化、ロシアのウクライナ侵攻といった問題が農業や食糧事情を大きく揺さぶる中で、再生医療技術を用いて細胞を培養増殖することによってタンパク質を生産、食肉や魚介類を製造する「細胞農業」が注目されている。食糧安全保障に寄与しながらサステナブルな社会を構築するためには、どのようなルールや投資が必要なのか、議論する。

14:30-14:50

[単独講演] **先進 IT で描く 2025 年の世界 ～テクノロジーが切り拓く近未来の業界変革～**

森 祐之 日本アイ・ビー・エム IBM コンサルティング事業本部 パートナー

概要： ポストコロナにおける経済活動や日常生活の回復への歩みを進める中、世界は新たなトレンドを示しつつあります。世界の経営者や消費者との対話、およびこれから実用段階を迎える先進 IT への洞察から、私たちは、既存の枠を超えた体験・プロセス・IT 環境が、リアルとデジタルの一体化した世界を生み出すと考えています。

そのような近未来において進む業界変革のポイントと、それを支えるボーダレス時代のアーキテクチャーを提唱します。

15:00-15:50

[パネル] **社会課題解決を実現するデータスペースエコノミーへの道筋**

石田 誠司 セゾン情報システムズ 取締役・事業推進管掌 兼 上席執行役員 DI ビジネス統括
兼 データプラットフォームビジネスユニット長

村上 敬亮 デジタル庁国民向けサービスグループ グループ長

越塚 登 一般社団法人データ社会推進協議会 会長/東京大学大学院 情報学環 教授

モデレーター：
藤沢 久美 国際社会経済研究所 理事長

概要： 企業の内部でDX対策をいくら進めても、日常的に繰り返される企業間取引におけるデータ連携が機能しないと社会課題の解決につながる本格的な産業・社会変革の実現はおぼつかない。大企業、中小企業、公共団体を含めたあるべきデータ連携の進め方について議論する。

16:00-16:50

[パネル] **脱炭素社会における農業とエネルギーの幸せな出会い**

大出 浩睦 誠和 代表取締役

北川 寛人 PLANT DATA 事業開発部 代表取締役 CEO

西和田 浩平 アスエネ Co-Founder 代表取締役 CEO

モデレーター：
杉山 泰成 西村あさひ法律事務所 パートナー

概要： 気候変動対応、CO2 削減は、世界共通かつ最重要のミッション。その中で農業、エネルギー産業はそれぞれ課題解決に向けて取り組んでいるが、DX（テクノロジー）を活かして両産業が力を合わせることで、コスト削減はもちろん、新しい価値を生み出す仕組みづくりが一気に進む可能性を秘めている。

17:00-18:00

[パネル] 磐梯町の旅する公務員

佐藤 淳一 磐梯町 町長

菅原 直敏 磐梯町 デジタル変革戦略室 最高デジタル責任者

小野 広暁 磐梯町 デジタル変革戦略室 室長

渡部 久美子 磐梯町 デジタル変革戦略室 地域プロジェクトマネージャー 愛媛県 チーム愛媛 DX 推進支援センター センター長

モデレーター:

箕浦 龍一 一般社団法人官民共創未来コンソーシアム 理事

概要： 交流・関係人口を通じた地域活性化、町民本位の行政デザインを目指し、地方自治体のあり方をゼロからデザインしてきた磐梯町。職員のライフスタイル・ライフステージに合わせた働き方を目指し、どこでも仕事ができる状態の1つのゴールの形として「旅をしながら働く」をコンセプトに取り入れ、システム、セキュリティ共に問題なく業務にあたる状態を官民連携によって作り出してきました。本セッションでは、ワーケーションの有識者をモデレーターにお迎えし、自分らしく生きる公務員の在り方についてパネルディスカッションを行います。

18:20-18:50

大学ビジコン表彰式

シンポジウム

HALL A: 室町三井ホール

ワークショップ

HALL B: 室町三井カンファレンス

9月6日(火)

9月7日(水)

9月8日(木)

9月6日(火)

9月7日(水)

9月8日(木)

シンポジウム (HALL A: 室町三井ホール)

9月8日(木)

9:00-9:50

[パネル] **Society5.0の実現に向けたOMO戦略の考察**

～ラストワンマイルを繋ぐテクノロジーの勘所～

- 飯田 恭久 JP デジタル 代表取締役 CEO 日本郵政執行役・グループCDO 日本郵便 執行役員
- 岡田 陽介 ABEJA 代表取締役 CEO 兼 創業者
- 柳田 晃嗣 みずほフィナンシャルグループ 執行理事 兼 リテール・事業法人カンパニー 副カンパニー長
- 山本 真人 メルペイ 代表取締役 CEO
- モデレーター：
大久保 光伸 デジタル庁 ソリューションアーキテクト

概要：デジタル庁では『誰一人取り残されない、人にやさしいデジタル化を』をモットーに行政や国民向けサービスのDXに取り組んでおり、多様な幸せを実現するデジタル社会の実現を目指しています。本セッションでは、テクノロジーのバックグラウンドを持ち合わせながら事業開発やマーケティング領域にて第一線で活躍されている有識者をお迎えし、デジタルの力で社会の構造やユーザーの行動を変え得るサービスや仕組みについて、パネルディスカッションを行います。また、各組織におけるDXの推進に必要な裁量や組織のあり方についても掘り下げていきます。

10:00-10:50

[パネル] **高度化するグローバルサプライチェーン ～DXが参加運用のカギに**

- 西山 圭太 東京大学未来ビジョン研究センター 客員教授 経営共創基盤 シニア・エグゼクティブ・フェロー
三井住友海上火災保険 顧問
- 齊藤 裕 独立行政法人情報処理推進機構 デジタルアーキテクチャ・デザインセンター センター長
- 平野 正雄 早稲田大学 ビジネススクール 教授
- 松永 圭司 三井住友銀行 アジア・大洋州統括部 アジアイノベーションセンター室長
- モデレーター：
中山 淳史 日本経済新聞社 本社コメンテーター

概要：グローバル経済において、サプライチェーンが満たすべき要件や価値が、脱炭素化、人権、経済安全保障など多岐にわたり、サプライチェーンの途絶につながるリスクも増えている。こうしたサプライチェーンの変化や高度化に対応するためには、データドリブンマネジメントで変化を捉え、対策を見つけ出すDXの能力が求められる。

11:00-11:50

[パネル] **デジタル社会の“コペルニクスの転回”**

～利用者がプラットフォームの中心となる世界は来るか

- 徳山 真旭 AnchorZ 代表取締役 CEO
- 千葉 孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO
- 池辺 将之 北海道大学 量子集積エレクトロニクス研究センター教授 北海道大学附属病院 次世代遠隔医療システム開発センター 副センター長
- 牛田 遼介 金融庁総合政策局フィンテック参事官室 イノベーション推進室長
- モデレーター：
日置 巴美 弁護士法人三浦法律事務所 パートナー・弁護士

概要：ハッキングやなりすましといった被害が増えるネットやクラウドなどのデジタルプラットフォームでは、サービス提供会社や公的機関による身元確認や本人認証の重要性が増し、利用者は煩雑な操作や手続きを求められること

	<p>も少なくない。このままでは「だれ一人取り残さないデジタル社会」の実現はおぼつかない。利用者がプラットフォームの中心にいて、安全な環境の中で自らの個人情報や行動履歴を活用できるデジタル社会は実現できないのか。課題と解決の糸口を探る。</p>								
12:35-12:50	<p>[単独講演] 次世代をつくる SMBC グループのデジタルビジネス</p> <p>白石 直樹 三井住友フィナンシャルグループ 執行役員 デジタル戦略部長</p>								
13:00-13:20	<p>[単独講演] 日本企業の TCFD 開示におけるクライメートテック利用、その先のサステナ経営変革 IT アジェンダ</p> <p>鍋島 四郎 日本アイ・ビー・エム IBM コンサルティング事業部 銀行証券セクターコンサルティング コンサルティングサービス統括 パートナー/理事</p> <p>概要： コーポレートガバナンス・コードの改定により、企業の開示・経営管理において TCFD 対応は重要なビジネス・ドライバーとなっています。TCFD の定量開示に必要なデータ・処理は何か、その定量開示を支援する IT ソリューションに求められるものは何かを説明した上で、TCFD 開示対応にとどまらない今後のサステナ経営変革 IT アジェンダについて紹介します。</p>								
13:30-14:20	<p>[パネル] 官民タッグで拓く資産形成の新局面 ～公的年金シミュレーターと民間 DX サービスの連携拡大～</p> <p>村井 英樹 内閣総理大臣補佐官・衆議院議員 (埼玉1区)</p> <p>岡部 史哉 厚生労働省 年金局総務課 課長</p> <p>二見 通 アフラック生命保険 取締役専務執行役員・CTO(チーフ・トランスフォーメーション・オフィサー)・ CDIO(チーフ・デジタル・インフォメーション・オフィサー)</p> <p>モデレーター： 瀧 俊雄 マネーフォワード 執行役員 CoPA Fintech 研究所長</p> <p>概要： 厚生労働省は、働き方、暮らし方の変化に伴う年金額の変化の「見える化」を目的としてパソコンやスマホで自分の年金額を簡単に試算できるツール「公的年金シミュレーター」を開発、今年4月から試験運用を開始した。このツールを積極的に活用し、QOL (Quality of Life) の向上につなげるためには、様々な民間 DX サービスとの連携拡大が必要だと言われる。人生100年時代の資産形成の未来を明るくするために求められる"官民タッグ"のありようを議論する。</p>								
14:30-15:50	<p>ファイナルピッチ</p> <table border="0"> <tr> <td>AC Biode</td> <td>bajji</td> </tr> <tr> <td>コークッキング</td> <td>DATAFLUCT</td> </tr> <tr> <td>エナーバンク</td> <td>EV モーターズ・ジャパン</td> </tr> <tr> <td>アイ・グリッド・ラボ</td> <td>SIRC</td> </tr> </table>	AC Biode	bajji	コークッキング	DATAFLUCT	エナーバンク	EV モーターズ・ジャパン	アイ・グリッド・ラボ	SIRC
AC Biode	bajji								
コークッキング	DATAFLUCT								
エナーバンク	EV モーターズ・ジャパン								
アイ・グリッド・ラボ	SIRC								
16:00-16:10	<p>デモステージ</p> <p>エクサウィザーズ：社会課題解決と Web3 の交差点</p> <p>石山 洸 エクサウィザーズ 代表取締役</p>								
16:20-17:20	<p>[パネル] 「DX x セキュリティ」が求める政策と企業戦略</p> <p>佐々木 弘志 フォーティネットジャパン OT ビジネス開発部 部長</p> <p>坂 明 デジタル庁 CISO</p> <p>上村 征広 MS&AD イシューアランスグループホールディングス データマネジメント部 部長 三井住友海上火災保険 データマネジメント部 部長</p> <p>モデレーター： 西村 博之 日本経済新聞社 コメンテーター兼論説委員</p>								

概要： ランサムウェアや DDoS 攻撃など高度化、複雑化するサイバー攻撃に対し、DX はセキュリティ対策を十分に盛り込んだ形での政策立案や企業戦略を推し進める役割を担う。安全を確保しながらイノベーションを実現するために必要な DX の有り様を議論する。

17:30-18:00

インパクトピッチ表彰式

セッション情報は 2022/09/02 現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

日経 SUM 事務局

シンポジウム

HALL A: 室町三井ホール

ワークショップ

HALL B: 室町三井カンファレンス

9月6日(火)

9月7日(水)

9月8日(木)

9月6日(火)

9月7日(水)

9月8日(木)

ワークショップ (HALL B:室町三井カンファレンス)

9月6日(火)

11:00-12:00

AIで特許書類作成の戦略的な活用方法～グレーゾーン解消制度による誕生秘話～

powered by AI Samurai

白坂 一 AI Samurai 代表取締役

渡邊 遼太郎 東京八丁堀法律事務所 弁護士

概要：株式会社 AI Samurai が開発する特許書類作成は人工知能 (AI) を利用して特許作成を行うことができます。AI で特許書類を作成すること自体は法的に問題がないのでしょうか。本ワークショップでは、弁理士の独占業務である特許書類の作成に AI を用いることを「適法」とした経済産業省のグレーゾーン解消制度の秘話とともに、特許書類作成システムを実際に動かしながら戦略的な使い方をご紹介します。

14:20-14:50

金融・ペイメント業界でのデジタル変革を共創する「デジタルサービス・プラットフォーム」

powered by 日本 IBM

桑原 康史 日本アイ・ビー・エム IBM コンサルティング事業本部 金融サービス事業部 金融ビジネス・ソリューションズ アソシエイトパートナー

概要： COVID-19 以降さまざまな局面でデジタルシフトが加速し、デジタル・ネイティブなエコシステムの形成が進んでいます。本セッションでは、デジタル社会において金融機関やクレジットカード会社が多様な選択肢を持ち、新しいサービスを柔軟かつスピーディーに提供することを可能とする「デジタルサービス・プラットフォーム」についてご紹介いたします。

15:00-15:50

10年後の金融機関～AI・データ活用が国民生活をどう豊かにするのか

powered by デジタル庁

佐藤 市雄 SBI ホールディングス 社長室ビッグデータ担当次長

佐伯 卓也 ダイナトレック 取締役 金沢大学 人間社会研究域 客員研究員

小川 幹雄 DataRobot, Inc. データサイエンス ディレクター

モデレーター：

岡田 拓郎 一般社団法人金融データ活用推進協会 代表理事 デジタル庁 プロジェクトマネージャー

概要：デジタル庁は、デジタル社会形成の司令塔として、社会全体の DX の推進を通じ、全ての国民にデジタル化の恩恵が行き渡る社会を実現すべく取組を進めています。本セッションでは、金融業界で AI・データ活用領域の第一線で活躍されてきた有識者をお迎えし、10年後の金融機関の在り方や AI・データ活用が国民生活をどう豊かにするのかパネルディスカッションを行います。また、10年後を見据えて、現状の金融機関における AI・データ活用の課題、業種を超えた DX をどのように実現すべきなのか掘り下げていきます。

16:00-16:50

デジタル技術と金融が導く新たな農業の進路

powered by EY Japan

小畑 秀樹 農林中金総合研究所 常務執行役員

高橋 明久 ノウタス 代表取締役 CEO

桐戸 優作 日本マイクロソフト デジタル・ガバメント統括本部 事業開発担当部長

モデレーター:

神瀬 功崇 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング バンキング アンド キャピタルマーケット(銀行・証券) シニアマネージャー

概要：農業や食への社会的関心が高まる中、従前の農業関連事業者だけでなく様々なプレイヤーが農業 DX へのコミットメントを強めている。農業 DX 実現のカギとなるデジタル技術や金融サービスを紐解き、最近の事例とともに今後の方向性を議論する。

17:00-18:00

食農分野のトランスフォーメーションを支える法務

～サステナビリティ対応を踏まえた法務戦略について～

powered by 西村あさひ法律事務所

杉山 泰成 西村あさひ法律事務所 パートナー・弁護士

平田 えり 西村あさひ法律事務所 福岡事務所 弁護士

片桐 秀樹 西村あさひ法律事務所 弁護士

河野匠範 西村あさひ法律事務所 弁護士

水野雄介 西村あさひ法律事務所 弁護士

鈴木健也 西村あさひ法律事務所 弁護士

小松詩織 西村あさひ法律事務所 弁護士

概要：食農のトランスフォーメーションとサステナビリティ対応に関する国内外の法的動向、及び重要分野（アグリ・フードテックに関するレギュレーション/ルールメイキング、森林ビジネスとカーボンプレジット、アクアファイナンス等）における最先端の法務戦略をご紹介します。

シンポジウム

HALL A: 室町三井ホール

ワークショップ

HALL B: 室町三井カンファレンス

9月6日(火)

9月7日(水)

9月8日(木)

9月6日(火)

9月7日(水)

9月8日(木)

ワークショップ (HALL B:室町三井カンファレンス)

9月7日(水)

11:00-12:00	<p>全国銀行協会の DX 事例～TRUSTDOCK の eKYC で個人信用情報のオンライン開示を実現～ powered by TRUSTDOCK</p> <p>千葉 孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO 上井 伸介 TRUSTDOCK セールスマネージャー 関根 光 一般社団法人全国銀行協会 信用情報部 調査役 越智 広貴 一般社団法人全国銀行協会 信用情報部</p> <p>概要： 全国銀行協会が運営する全国銀行個人信用情報センター（KSC）は、今春、TRUSTDOCK の eKYC を活用して、個人信用情報に係る本人開示のオンライン化を実現。従来の郵送での開示に加え、デジタル完結した開示により、ユーザーの利便性向上や生産性向上に貢献した、本プロジェクトの背景や効果についてお話しします。また、TRUSTDOCK が各社と取り組む最新 DX 事例を合わせてご紹介いたします。</p>
13:00-13:45	<p>データ連携ベンダーが自ら DX を実践！データドリブン活用事例のご紹介 powered by セゾン情報システムズ</p> <p>石田誠司 セゾン情報システムズ 取締役・事業推進管掌 兼 上席執行役員 DI ビジネス統括 兼 データプラットフォームビジネスユニット長 小八木 裕 セゾン情報システムズ DI ビジネス統括 HULFT ビジネスユニット 西日本事業所 川井田 緑 セゾン情報システムズ DI ビジネス統括 HULFT ビジネスユニット 西日本事業所</p> <p>概要： HULFT、DataSpider とデータ連携ソフトベンダーである当社は自社製品を徹底的に活用し、その経験を製品やサービスに反映して、お客様にご提案しております。当社では DX 実践として、自社 IT 環境のクラウド移行がほぼ完了し、次のステップであるデータドリブンプラットフォーム構築を行いました。当講演では、どのように取り組みを推進してきたか、データの民主化を実現し具体的にどのようにデータを活用しているかをデモを交えてご紹介いたします。</p>
14:00-14:30	<p>究極の本人認証技術「バックグラウンド認証®」とは powered by AnchorZ</p> <p>徳山 真旭 AnchorZ 代表取締役 CEO</p> <p>概要： ”負担を減らしても安心は減らない” 今の eKYC（オンライン上での本人確認）の課題を一挙に解決する全く新しい発想のバックグラウンド認証技術についてご説明いたします。日本発のこの技術がいかに利用者の安全性と利便性を確保し今後のデジタル社会に貢献するかについて説明します。</p>
15:00-15:30	<p>Web3 時代の AI 戦略、社会課題解決を成長ビジネスに変える正のスパイラル powered by エクサウィザーズ</p> <p>大植 択真 エクサウィザーズ 取締役</p>

概要： Web3 についての話題がメディアなどをにぎわせるようになり、企業の CxO から「ビジネスにどう影響があり、AIとはどのような関係があるのか」と聞かれることが増えた。AI スタートアップのエクサウィザーズに所属する大植がタイトルと同名の書籍をこの都度出版しており、厳選したエッセンスを紹介いたします。民間企業でも必須となった社会課題解決について、立案や分析を容易にする「BASICS フレームワーク」についてもご説明します。

15:40-16:10

大学ビジコン パネルディスカッション

2050 年の未来に向けて：大学生の Big Picture 構想力への期待

各務 茂夫 東京大学大学院工学系研究科 教授・産学協創推進本部 副本部長

秦 茂則 大阪大学 共創機構 機構長補佐 教授

細井 椋太 CoilSite CEO・東京工業大学 環境・社会理工学院 修士 2 年

モデレーター：

上田 敬 日本経済新聞社 編集 総合解説センター 担当部長

概要：今回の大学ビジコンでは、2025 年大阪・関西万博の「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマを念頭に、理想の未来社会像とそれを実現するビジネスプランを全国の大学生たちから募りました。全国の大学から数多くのエントリーがあり、予選会では最先端の技術を活用したビジネスアイデアが溢れていました。その中から選りすぐりの 6 チームが本日の決勝大会に臨みます。

大学の技術や大学生の柔軟なアイデアはどんなビジネスにつながる可能性があるのか。その方法とは。東京大学で起業家教育を進める各務茂夫教授、大阪大学で博覧会推進室長を務める秦茂則教授、そして昨年の大学ビジコンで優勝して起業した東京工業大学修士 2 年の細井椋太氏らが語り合います。

16:20-17:30

大学ビジコン 決勝大会

全国の大学生・大学院生から広くアイデアを募り、2050 年の未来社会に向けて幅広くテクノロジーを活用したビジネスアイデアが競います。予選を勝ち抜いた 6 チームの熱戦をご覧ください。

審査員

大植 択真 エクサウィザーズ 取締役

檀本 英吾 日本貿易振興機構 イノベーション・知的財産部 部長

堺井 啓公 2025 年日本国際博覧会協会 機運醸成局機運醸成局長 兼 地域・観光部長

秦 茂則 大阪大学 共創機構 機構長補佐 教授

杉本 晶子 日本経済新聞社 編集 地域報道センター 地域ビジネスエディター

17:40-18:10

大学ビジコン セミファイナリストピッチ

概要：僅差で決勝進出を逃したチームが、1 分間のプレゼンテーションで魅力あふれるビジネスアイデアを披露します。

シンポジウム

HALL A: 室町三井ホール

ワークショップ

HALL B: 室町三井カンファレンス

9月6日(火)

9月7日(水)

9月8日(木)

9月6日(火)

9月7日(水)

9月8日(木)

ワークショップ (HALL B:室町三井カンファレンス)

9月8日(木)

10:00-11:00

経済産業省中小企業庁の Go-Tech 事業で取り組む、佐賀の事例をもとにした農工連携脱炭素技術について

powered by 誠和

鍵山 勝一 佐賀県農業試験研究センター 所長

江島 英文 佐賀市バイオマス産業推進課 課長

モデレーター:

大出 浩陸 誠和 代表取締役

概要: 経済産業省中小企業庁の成長型中小企業等研究開発支援事業(通称、Go-Tech 事業)に採択された農工連携の脱炭素技術に関する研究開発。佐賀の清掃工場から出る余熱、廃ガスをハウス栽培で利用するモデルを日本全国へ展開すべく、農業と工業の産業横断的な脱炭素への取組を紹介する。地方創生や農業発展にもつながる可能性を持っており、デジタル技術でエネルギーと農業の課題を解決する本取組は注目のセッションである。

11:30-12:00

金融業界編 - 先進 IT で描く 2025 年の世界

～テクノロジーが切り拓く近未来の業界変革～

powered by 日本 IBM

植木 悠二 日本アイ・ビー・エム IBM コンサルティング事業本部 金融サービス事業部
金融ビジネス・ソリューションズ アソシエイト・パートナー

概要: 日本 IBM は 7 月に「先進 IT で描く 2025 年の世界」を発表しました。その中では特に「リアルとデジタルの融合」を未来を形作る主要なテーマの一つとして挙げています。本講演では将来普及が見込まれる 10 の先進 IT の中から 3 つを厳選し、その内容と金融業界におけるユースケースについてビジネス・テクノロジーの二つの視点から解説します。

13:00-13:30

DX 推進、データに関わる業務課題はスマートスタートで解決

powered by セゾン情報システムズ

野間 英徳 セゾン情報システムズ マーケティング部 部長

概要: 企業の DX はなぜ進まないのか。DX への取り組みを大上段に構え過ぎてはいないでしょうか。ポイントとなるのはデータ活用のスマートスタートです。取り組みやすいところからシステム同士をつなげて、データ活用を初めてみる。その際、追加したいシステムのデータを簡単につなげられる仕組みにしておけば、小さく初めて大きく広げることが可能です。初めは考えてなかった接続先が、必ずあとから増えるものです。当セッションでは弊社が実際の業務で適用している、具体的な DX の取り組み事例をご紹介します。皆さんも今すぐ始めてみませんか。

13:40-14:10

真にユーザー目線で作るこれからのデジタルサービスとセキュリティ

powered by AnchorZ

徳山 真旭 AnchorZ 代表取締役 CEO

橘 嘉宏 三菱地所 住宅業務企画部 新事業・DXユニット 主事

概要: バックグラウンド 認証®開発会社 AnchorZ の徳山代表と、三菱地所の総合スマートホームサービ

ス ”HOMETACT”の推進リーダー橘氏が、これまでのシステム開発経緯を踏まえ、これからのデジタル生活関連サービスの在り方やセキュリティについて語り合います。真にユーザー目線なデジタルサービスを創っていくために必要なことはなにか。これからのデジタルサービスが意識すべき快適性・利便性・安全性を紐解きながら社会インフラを目指す両社のリーダーが将来に向けたビジョンを語ります。

14:20-14:50

メディカル・メタバース /AI を活用したニュー・ヘルスケアへの挑戦

powered by 日本 IBM

先崎 心智 日本アイ・ビー・エム IBM コンサルティング事業本部 ヘルスケア・ライフサイエンス・サービス パートナー/理事 順天堂大学大学院 医学研究科 特任講師

概要：順天堂大学/IBM が取り組んでいるメディカル・メタバースによる時間や距離を超えた新しい医療への挑戦、バーチャル総合診療科・希少疾患スクリーニング AI による難病患者の早期発見、認知機能 AI を活用した超高齢社会における金融業務変革など、ニュー・ヘルスケアの実現に向けて現在進行形の取り組みをご紹介します。

15:10-15:40

ブロックチェーンビジネスの動向 ～今、どのような準備をすべきか～

powered by G.U.Technologies

稲葉 大明 G.U.Technologies 代表取締役 CEO
近藤 秀和 G.U.Technologies 代表取締役 CTO
並木 雅子 G.U.Technologies 執行役員 開発統括 PM
モデレーター：
根本 直子 早稲田大学 大学院経営管理研究科 教授

概要：国内外のブロックチェーンビジネスの活用例や動向について紹介します。これらの潮流を踏まえ、これからブロックチェーンビジネスを行うにあたり、どのような準備を今すべきか？どんな課題をクリアしなければならないのか？そして、それらをサポートするビジネス向けブロックチェーン基盤「Japan Open Chain」や技術、法制・税制面のアドバイス、事業企画支援等、当社のサービスを紹介いたします。

16:00-17:00

業界を超えた、産官学でのグローバル DX 協創をめざして

powered by トレードワルツ

平塚 敦之 デジタル庁 審議官 戦略・組織グループ次長(国際担当)
小島 武仁 東京大学マーケットデザインセンター センター長 兼 大学院経済学研究科 教授
吉田 和弘 豊田通商 物流部部长
モデレーター：
染谷 悟 トレードワルツ 取締役 CEO 室長

概要：産官学オールジャパンで貿易 DX を推進するトレードワルツがファシリテーターとなり、産学官の代表者より5分前後のDX関連取組状況の報告ならびに、下記ご意見を伺います。

- ・産業界として業界を超えてデータを集め、産業モデルを変える難しさと取組内容
- ・学術界として知を活かし、集めたデータをどう分析・最適化していくか
- ・官としてデータ流通を国内外で進めていくために、どのようなルール・規制づくりが必要か

17:10-18:00

缶が創り出すアルコール飲料の新たなグローバル市場とそのサプライチェーン

powered by Agnavi

瀧 統 日本貿易振興機構 (JETRO) ロサンゼルス事務所 所長
澤田 大 農林中央金庫 香港駐在員事務所 駐在員
園部 裕樹 京王電鉄 経営統括本部 長期戦略チーム 課長補佐
三木 逸平 東洋製罐グループホールディングス イノベーション推進室 マネージャー
モデレーター：
玄 成秀 Agnavi 代表取締役 CEO

セッション情報は 2022/09/02 現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

日経 SUM 事務局